

社会学研究科

○ディプロマポリシー

社会学研究科では、空理空論を語らない実学主義の理念のもとに、少子高齢化、雇用、エネルギー、食糧、環境などの問題を社会福祉学、地域社会学、産業社会学、観光社会学を中心に社会学の新たな視点から科学的に解決し、実践に役立たせることができる高度かつ専門的な知識や技能を身に付けた人材を育成することを目的とし、以下に示した方針のもと、所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得し、研究科の定める審査および試験に合格した者に学位を授与します。

両課程ともに

1. 社会学にかかわる幅広い学識を身に付けている。
2. 地域における福祉医療、保育、地域、観光、公務にかかわる今日的な課題を見出し、それを解決し社会に貢献することができる知識、技能及び実践力を身に付けている。
3. 論文の作成をとおして研究を行う上で必要な問題解決能力を身に付けている。

さらに

修士課程

1. 現代における諸問題、社会に生じている事象を広い視野から、社会福祉学、地域社会学、産業社会学、または観光社会学の専門的知識に基づいて論理的に分析・解決できる能力を修得します。
2. 社会学分野における幅広くかつ深い学力を備え、問題発見・問題分析・問題解決の能力を持ち、行政機関、研究機関、企業、NPO・NGOなどで、専門実務家、専門調査士として社会に貢献できる人材、さらに博士後期課程に進学して研究者を目指すのに必要な資質・能力を持つ人材の養成を目的としています。

博士後期課程

1. 現代における諸問題を広い視野から、社会福祉学、地域社会学、産業社会学、または観光社会学の専門的知識の深い理解をもち、従来の研究を発展させ、創造性の高い研究課題を自ら設定し遂行する能力を修得します。
2. 社会学分野における研究者、福祉医療、保育、地域、観光、公務など官民諸団体における調査・企画立案のできる専門家養成を目的としています。

○カリキュラムポリシー

社会学研究科は、その教育目標に基づき以下のようなカリキュラムを編成しています。

(1) 専門的な知識と方法論を体系的に学ぶために、基礎科目、専門科目、そして演習科目を設置しています。

基礎科目には、「社会学理論特論」と「社会史特論」、専門科目には「産業社会学特論」、「心理療法・心理援助特論」、「観光社会学特論」など 15 講座が体系的に設置されています。

(2) 身につけた知識や技術を援用して、現代社会の問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力を養うために演習科目を必修として、個別指導を行っています。

(3) 人材養成プログラムとして、「公務員・企業での専門実務家を志望する者」「社会問題や心理問題に対処しうる教育的実践者を志望する者」「観光産業や情報産業における専門家を志望する者」、そして「研究者を志望する者」の 4 つを履修モデルとして設置し、履修者の便宜を図っています。